

第3回遠州広域行政推進会議 議事概要

日時：平成24年5月2日（水）午後3時00分から午後5時00分

場所：袋井市役所 3階 301会議室

参加：浜松市長、袋井市長、磐田市長、掛川市長、湖西市長、御前崎市副市長（市長代理）、菊川市長、牧之原市長、森町長

1 第2回遠州広域行政推進会議後の取組について

事務局が資料を基に報告を行った。

【主な意見】

- ・中部電力からの回答にある災害、停電時における市町との専用回線の整備はもとより、電話回線が輻輳した場合でも連絡がとれるよう回線数の確保を含め対策をお願いしたい。

2 新東名高速道路の活用について

事務局が資料を基に報告を行い、以下の事項について合意した。

【合意事項】

- ・新東名高速道路のICへの案内標示板が不十分であるため、市町が対応出来ない県道などへの設置の充実を図るよう申し入れる。

【主な意見】

- ・県道における案内標示板の設置について、県と調整を行う必要がある。
- ・市町が連携・協力し、広域的に共通認識をもって案内標示板の設置をしていくことが必要である。
- ・新東名高速道路の開通で三ヶ日・御殿場間の沿線上の各地域に注目が集まっているので、もっと各地域のPRをするべきである。

3 情報システムの共同利用について

事務局が資料を基に報告を行い、以下の事項について合意した。

【合意事項】

- ・遠州広域行政システム共同利用研究会で研究を進めると同時に、研究会の進捗状況を当会議で報告する。
- ・自治体クラウドについての共通理解を深めるため、次回の会議などで勉強会を開催する。

【主な意見】

- ・自治体クラウドの運用に当たっては住基や税などの行政の根幹となるシステムを想定しているので時間をかけてでも慎重に対応をしていくべきである。
- ・各市町で同じシステムを使えば経費の節減にもなり賛成である。
- ・政令市を含んだ取り組みは全国的にも初である。
- ・本来はこういった取り組みは国がやるべきである。

4 次回開催について

- ・9月～10月を目安に、森町にて実施